

GIGA第2期 調達ガイドライン対応 ハンドブック

押さえておきたい！
端末選定や教育 DX 計画のポイントまとめ

INDEX

AI 時代に求められる未来の教育とマイクロソフトの思い

- ① GIGA 第 2 期における学びの姿と AI 時代の学びのビジョン
- ② マイクロソフトの本気 5.5 万円におさまる GIGA 第 2 期基本パッケージ
- ③ Windows 8/64 の高性能 PC と Web フィルタリングが補助対象内で使える
- ④ 煩雑な初期設定や年次更新から解放されるゼロタッチデプロイメントとは？
- ⑤ 本当の意味で“学校が変わる”！
「次世代の校務 DX」をまるごと一気通貫で実現します
- ⑥ 名もなき校務を応援 元教員が本気で考えた働き方を劇的に変える小技10
- ⑦ マイクロソフトは共同調達に柔軟に対応します

AI時代に求められる 未来の教育とマイクロソフトの想い

2022年に登場した対話型生成AI「ChatGPT」は、わずか3ヶ月で利用者数が1億人を突破しました。多様な分野での活用が話題となり、ITに詳しい方だけでなく、多くの方々に使われるようになりました。今まで人間にしかできないと思われていたことも生成AIで代替できるようになり、文章の執筆、要約、添削、そして画像や動画生成だけでなく、データ分析や評価等も可能になりました。教育分野でも世界中で活用が進み、**英語学習やプレゼンテーション支援など子どもたちの個別最適な学びの実現はもちろん、先生方の校務効率化など、子どもたちに向き合う時間の最大化に寄与**しています。日本においても文部科学省が暫定ガイドラインを早期に発表し、GIGA第2期に合わせて発表された教育DXに係るKPIにおいても「学校現場における生成AIの達成目標」が設定され、生成AIの適切な活用を前提とする教育が間近に迫ってきました。

当社はChatGPTを提供するOpenAI社とパートナーシップを結び、あらゆる製品に同社の生成AI技術を搭載しており、世界中のお客様にご活用いただいています。ただ、**生成AIを含むテクノロジーは手段であり目的ではない**ということを常に忘れてはいけません。当社ではGIGA第1期以前から「Future Ready Skills」という理念を掲げており、多くの教育機関の皆様と協力し、**未来の社会で必要とされる資質・能力をICT活用によって育てていくことを目指しています**。子どもたちが変化していく様子を目の当たりにする度に、ICTの持つ無限の可能性を実感しました。そしてこの姿は子どもたちだけでなく、新たな学びの創出や校務DXを進める先生方にも見られました。**生成AI時代においては、主体性や創造性といった人間固有の力がこれまで以上に大切になります。Future Ready Skillsは単に学術的な知識を育成するだけでなく、現代社会における課題発見や独創的な思考を促す、まさにAI時代で活躍するための力になります。**

1975年に創業したマイクロソフトは、「地球上のすべての個人とすべての組織がより多くのことを達成できるようにする」ことを目標に世界120か国で活動しています。日本では1978年に米国外で初となる事業拠点が設置され、半世紀近く、教育を含む多くのお客様のご支援をさせていただいています。そして2024年4月には300万人のリスキリングを通じたAI活用の底上げと研究拠点の設立など、過去最大規模の投資を発表しました。教育現場においても、大切なプライバシーやデータをしっかりお守りしながら、子どもたち・先生方・自治体の様々な課題をAIによって解決するお手伝いをしていきます。そしてこれまでのFuture Ready Skillsを土台にしながら、AI活用を前提とする時代に向かう、無限の可能性を持つ子どもたちの明るい未来を、皆様と一緒に、全社一丸となって築いていきます。



日本マイクロソフト株式会社
公共戦略営業本部長 兼
GIGA スクール政策室長
宮崎 翔太



GIGA 第 2 期における学びの姿と AI 時代の学びのビジョン

「教育 DX に係る KPI の方向性」に示している KPI

引用:公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領

個別最適・協働的な 学びの充実

児童生徒が自分で調べる場面において
1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率

児童生徒同士がやりとりする場面において
1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率

児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において
1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率

教職員と児童生徒がやりとりする場面において
1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率

子どもの探究心に寄り添う

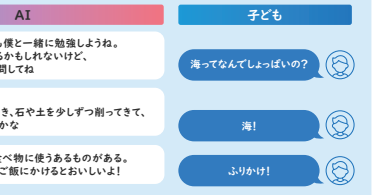
クラウドを利用することで他の人の考えが見えるようになります。Teams の投稿機能を使うとクラス全員の子どもたちの疑問が瞬時に集まります。ここに加わる生成 AI は授業だけでは尽きることのない子どもたちの疑問に、無限に寄り添ってくれる相棒となります。答えを言わない生成 AI の活用によって、子どもたちが自然に自分の問いを増やしたり、自分自身で解決する手伝いをします。

GIGA 第 2 期の 学びの姿



生成 AI を
組み合わせると

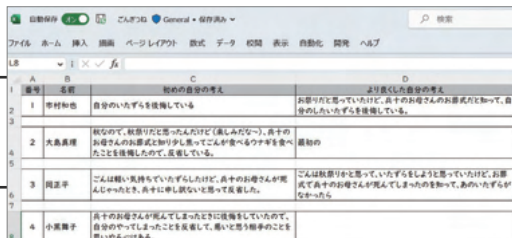
探究的な家庭教師チャット



問いの焦点化を支援する

エクセルの共同編集を利用することで他者の問いに質問を投げかけることが可能になります。質問を元に自分の問いは相対化されます。ここで生成 AI を利用することで、問いの焦点化がしやすくなります。さらに生み出した問いを生成 AI が分類することができます。これにより、問いの発散と分類のサイクルが速くなり、より焦点化した問いを作り出すことができます。

GIGA 第 2 期の 学びの姿



生成 AI を
組み合わせると



知への探索を支援する

ウェブを使用しても正しい知識を得ることは難しいです。Search Progress を利用すれば正しい情報に辿り着く方法を学ぶことができます。情報の鮮度や発行期間の信頼性、ファクトチェックの有無を見ながら子どもの検索の精度を高めてくれます。ここで生成 AI を使うことでさらに専門的な知へのアクセスが容易になります。Copilot を利用するとウェブ上の様々な専門知識を集約することができます。例えば進路学習においては子どもだけでなく、その分野を専門外とする先生にも有用です。引用が表示されることで更なる探究へと誘います。

GIGA 第 2 期の 学びの姿



生成 AI を
組み合わせると



2

マイクロソフトの本気 5.5万円におさまる GIGA 第2期基本パッケージ

GIGA 第2期 基本パッケージの概要 (補助対象 5.5万円を想定)

Windows PC + Microsoft 365 AI for Device

※教職員ライセンスとして Microsoft 365 A3/A5 の契約がある場合は、M365 AI for Device は不要

8/64 Windows PC	スリープから即時に復帰、マルチタスクや STEM 教育もサクサク使える	P.6
MDM ライセンス	Intune なら、Windows 管理は今までとまるで違う共同調達における 複数 OS での管理もおまかせあれ	P.7, 11
ゼロタッチデプロイ	初期設定や年次更新は、GIGA 第1期よりも 圧倒的に “早く” “軽く” “簡単”	P.7
Web フィルタリング	日本の教育機関限定で、無償提供開始	P.6
アンチウイルスソフト	Windows OS 付帯が新常識	P.6
Office, Teams 他	世界中で使われる鉄板の汎用ツールで 学びを深める	P.3-5
AI 学習ツール	Learning Accelerators で学習成果を高めつつ、教員は効率的に	P.4
マイクラフト	仮想空間での探究とプログラミング学習	P.5
こころの健康観察	Reflect で子どもの心身の状況を把握する	P.5
校務 DX	名もなき校務を応援! 今すぐ使える日々の事務作業を効率化	P.10
校務セキュリティ	校務クラウド化にあたり必須要件とされているセキュリティ機能	P.6
データ活用	初心者でも使いやすい日常的なデータ活用	P.5
研修、活用支援	OS を問わない圏域でのハイブリッド研修 や 利活用データ可視化による活用支援	P.7, 11

基本パッケージで既存のものが置き換え可能

基本パッケージには既存で購入している様々な製品と同等の機能が含まれており、コストを最適化することが可能になります。

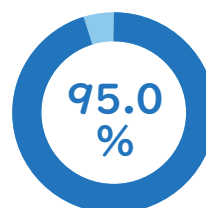
ウイルスソフト 	USB 無効化 暗号化 	端末管理ソフト 	ファイルサーバー 	保護者連絡 メールソフト 	語学学習支援 システム
学習活動 ソフトウェア 	Web コンテンツ フィルタリング 	Web 会議 	環境復元ソフト 	情報漏洩防止 ソフト 	リモート操作

世界中で使われている Office や Teams を活用した学び

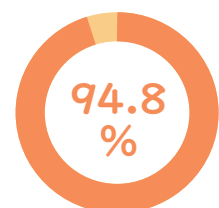
広く社会で使われる Windows

Windows と Office は、社会で広く利用される点の特徴です。学校現場では、社会で必要とされる資質や能力を育成するために採用されています。国内企業の 9 割以上が導入する理由には、法人向けの高いセキュリティと汎用性があります。学校での使用でも、さまざまな学校向けソフトへの対応、縦書きや外字への対応、特別支援や外国籍生徒向け機能などさまざまな要求に対応するため、制約のない OS 導入の多様な利点が重視されています。

Windows OS 導入している企業の割合



Microsoft Office 導入している企業の割合



※出典：国内パソコン稼働台数の推移と予測
2020年7月 株式会社 MM 総研 / 2020年3月末時点

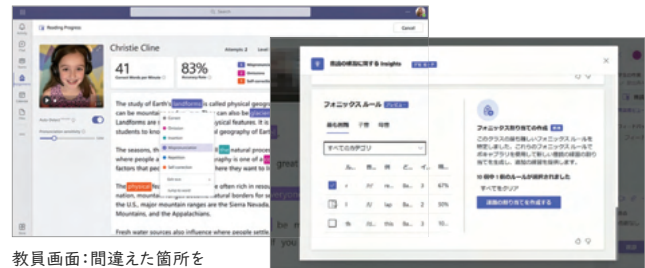
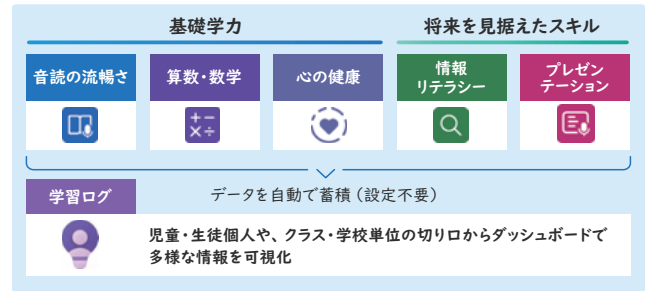
AI 学習アプリ Learning Accelerators

Learning Accelerators とは？

Learning Accelerators は、Teams の AI 学習 アプリで、全教育機関に**無償提供**されています。このアプリは、音読と数学の基礎学力向上に加え、情報検索と表現力の将来にわたって必要な力の育成を目指し、すべての子どもたちが学べるよう設計されています。学習情報は Education Insights で集約され、教員は簡単にデータ分析が可能です。

Reading Progress / Coach 音読練習 / 音読コーチ

AI が子どもが行った**音読の精度を自動で採点**します。画面に表示された文章を読み上げると、ビデオ付きの採点結果が生成されます。間違えた印がついた単語を教員がクリックすると動画が再生され、適切なフィードバックを返すこともできます。また、Word や PDF ファイルを入れることで、任意の文章を**音読練習教材に変換**することが可能です。英語のみならず、日本語を含むさまざまな言語に対応しており、幅広い言語の音読練習が行えます。



教員画面:間違えた箇所をクリックして動画で確認

間違えやすい単語の傾向を AI が分析し、練習問題を生成

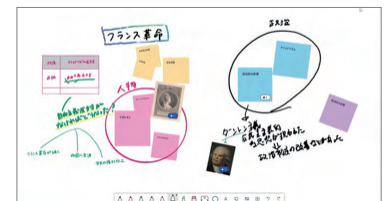
仮想空間での探究とプログラミング学習: Minecraft for Education

マインクラフトでは自動化による**プログラミング学習**を行うことができます。仮想空間で様々な実験を行うことができ、SDGs をテーマとした**探究学習での利用**も広がっています。



新しく軽くなったホワイトボード

協働学習において、子どもたちの考えをリアルタイムで共有して、まとめていく過程は不可欠です。Microsoft Whiteboard は、ブレインストーミングをおこない、**子どもたちの意見を可視化して分類する活動**に役立ちます。日々アップデートを重ねており、以前よりも**素早く起動、ペンによる操作も快適**になりました。



Reflect: こころの健康観察

Reflect の機能を使えば、子どもたちの心理状態を、簡単に把握することができます。これは、無償の Education Insights のダッシュボードを通じて、課題提出状況やクラス内の会話と併せて可視化することが可能です。



「学びの保障」中「希望する児童生徒への1人1台端末を活用した教育相談を実施している学校の率を100%とする」に関しては、学習外での端末利用として、児童生徒の**心身の状況把握や教育相談を行うため、端末を活用した「心の健康観察」を行い適切な支援につなげる**ことが重要である。

引用:公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領 P.7

生成 AI が組み込まれた Teams for Education

Teams の課題機能を使用して、手書き、テキスト、音声、動画、自動採点クイズなどあらゆる形式の課題を出すことができます。時間のかかる評価も**生成 AI が瞬時にルーブリック作成**を行います。



3

Windows 8/64 の高性能 PC と Web フィルタリングが補助対象内で使える

メモリ 8GB/ ストレージ 64GB スペックの GIGA 対応 PC を 55,000 円以下の価格で提供

1. 端末の最低スペック基準

Windows 端末

ストレージ 64GB 以上、メモリ 8GB 以上

※ブラウザ上での活用 (Microsoft 365 Web 版等) が前提かつ活用実態上支障が無いと判断した場合には 4 GB のメモリも許容する。

引用:GIGA スクール構想の実現 学習者用コンピュータ最低スペック基準 P.2

生まれ変わった New Windows

スリープからの復帰は即時、電源オフからの起動でも数秒。推奨構成と高スペック PC によって Windows は生まれ変わります。STEAM 教育、マルチタスクやプログラミング、画像編集など目的にあわせたアプリケーションをインストールして、インターネットの接続の有無に関わらずどこでも学習できるパソコンです。



詳しくはこちら ▶

日本の教育機関限定! Web フィルタリングを無償提供開始

2.2 ⑤ 児童生徒が端末を利用するに当たって、違法・有害情報との接触を 방지、安心・安全なインターネット利用を補助するため、児童生徒が利用する端末を対象とした **Web フィルタリング機能** を備えることが必要である。

引用:GIGA スクール構想の実現 学習者用コンピュータの調達等ガイドライン P.4 2.2 ⑤

日本の教育機関のお客様からの強い要望を受け、これまで有償で提供していた **高度な Web フィルタリング機能** を世界で初めて無償提供を開始します。従来のホワイトリスト、ブラックリストに加え、新たに **カテゴリフィルタリング** が導入され、子どもたちの安全なインターネット利用を支援します。これにより、**追加でフィルタリングソフトの購入をする必要がなくなり** 財政的な負担を軽減します。



校務のクラウド環境に対応するセキュリティ

パッケージに含まれるライセンスには「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」で **校務のクラウド化の必須要件とされた機能** が網羅されています。

図 2 いわゆるゼロトラストセキュリティに関する要素技術	
① アクセスの真正性に関する要素技術	
端末	①-1 多要素認証 AI for Device (Entra ID P1)
	①-2 リスクベース認証 任意
	①-3 シングルサインオン (SSO) AI for Device (Entra ID P1)
② 通信の安全性に関する要素技術	
端末/クラウド	②-1 通信経路の暗号化 M365通信はSSL暗号化対応
	②-2 Web フィルタリング Windowsは無償のEdge Webコンテンツフィルタリングで対応可能
③ 端末・サーバの安全性に関する要素技術	
端末	③-1 モバイル端末管理 (MDM) AI for Device (Intune)
	③-2 アンチウイルス AI for Device (Intune+Windows)
	③-3 データ暗号化 AI for Device (Intune+BitLocker)
	③-4 EDR (Endpoint Detection and Response) 任意
クラウド	③-5 IDS/IPS (Intrusion Detection/Prevention System) IAPを使うことにより不要
	③-6 WAF (Web Application Firewall) 任意

ココがポイント!

Windows 11 は早くなり、Teams は軽くなった!

Windows 11 は、10 と比較して大幅な性能向上を実現しています。端末の再開速度は 87% 向上し、Edge ブラウザの起動速度も 80% 速くなりました。Web 閲覧時のバッテリー寿命が 40% 延長され、児童・生徒と教員はより迅速かつ快適に授業を進めることが可能です。タッチ操作の親和性向上、画面の効率的な分割、クラウドとの横断的な検索機能の追加、さらには AI や音声入力へのアクセスも容易になり、全体的な利便性が高まっています

アンチウイルスソフトは Windows OS 標準が新常識!

アンチウイルスソフトは、Windows OS に標準で装備されているので、追加で購入する必要はありません。あらかじめ OS に付帯しているので追加インストール不要で、OS バージョンアップなどの互換性を気にする必要がありません。マイクロソフトが保有する世界中の攻撃情報を活用しており、独立第三者機関のテストでも高い評価を受けています。

4

煩雑な初期設定や年次更新から解放される ゼロタッチデプロイメントとは？

初期設定や年次更新は、GIGA 第1期よりも 圧倒的に“早く”“軽く”“簡単に” になりました！

4.6. 運搬、キッティング及び年次更新等

初期設定や年次更新は、MDM やメーカーが標準で提供するサービス、また、これらの組み合わせ等により、**ネットワーク経由で効率的に実施可能な場合 18** があるので、教育委員会や学校現場における初期設定や毎年の年次更新の実施可能性及びその負担軽減の観点から、調達時にその実施方法をよく検討すること。また、端末の運用開始後の OS のアップデートやセキュリティアップデートについて、多数の端末に対して一斉実施がなされる等により、ネットワークに過大な負荷がかかる事例が見られたことから、このようなことが生じないように、必要に応じ、OS においてアップデートの最適化の設定を行うこと。

引用：GIGAスクール構想の実現 学習者用コンピュータの調達等ガイドライン P.12

① 初期設定

Intune の Windows Autopilot 機能を利用すると、ID とパスワードを入れるだけで、あっという間にセットアップが完了します。あらかじめ端末に仕込まれているので、ネットワーク帯域を圧迫することはありません。



② 年次更新や故障時

卒業や端末故障等により、端末を使う生徒が変わる場合は、管理者が MDM (Intune) でリセットボタンを押すだけで、すぐに学習を開始できる状態にリセットされます。次に使う人は①の作業を行うだけで端末を利用できます。



Windows アップデートは、AI が適切なタイミングで更新し、もうあなたの学びを邪魔しません

クラウド型の Windows アップデートなら、1人1人の利用状況を取得し、**端末を使わない時間帯に更新**します。近くにある端末から更新プログラムのキャッシュ(断片)を受け取り、**なるべくネットワーク負荷をかけずに更新**します。帯域制限などを設定すれば、学校の事情に合わせてコントロール可能です。



ゼロタッチデバイス管理パートナーが支援します

GIGA 第2期に向けて認定パートナー制度を設けました。ゼロタッチに関するトレーニングを受け、資格を取得したパートナーは**最新のクラウド環境での運用管理を行う**ことができます。全国でも多くのパートナーが認定を受けています。

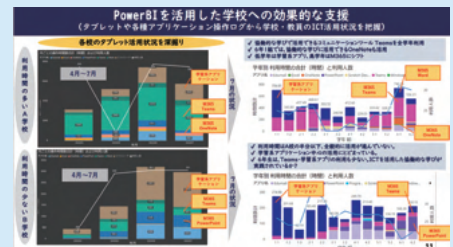


認定パートナー検索はこちら ▶ <https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/education/search-partner/>

ココがポイント！

端末の稼働状況を正確に把握し、 活用支援や個別最適な学びの実現に役立てよう

渋谷区教育委員会では端末における**学習アプリの活用状況**を収集し、利活用支援を行いました。利活用が進んでいる学校では、**協働的な学びで活用できる Teams や One Note を中心に活用**していることがわかり、実践事例をピンポイントで共有し、効果的な支援を行うことができました。



2.9. 端末の稼働状況を把握できる機能について

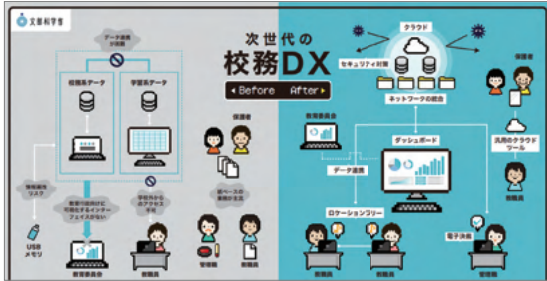
本機能は、プライバシー保護に十分留意した上で、**端末の利活用状況を客観的に把握**するために具備する必要がある。また、これらの各実装手段においては、端末の稼働状況にとどまらない学習データの分析機能も活用可能な場合がある。これにより、個別最適な学びの実現に資すること等が期待されることから、活用を推奨する。OS メーカーが提供するクラウドアカウント (Microsoft Entra ID、Google Workspace のアカウント。端末の OS と異なるものでもよい。) のログを取得し、ログイン有無を可視化して把握する方法 (クラウドアカウントへのログインを端末稼働と解釈) があり、そうした機能を端末と一体的に整備することが考えられる。

引用：GIGAスクール構想の実現 学習者用コンピュータ最低スペック基準 P.7

5

Microsoft ならずでに多数実績あり 本当の意味で“学校が変わる”！ 「次世代の校務 DX」をまるごと一気通貫で実現します

文科省専門家会議広報資料より「次世代の校務 DX」とは



GIGA スクール構想の下での校務 DX について
～教員の働きやすさと教育活動の層の高度化を目指して～広報資料より引用

①校務系・学習系ネットワークの統合

校務系システムを閉域網で運用するのではなく、**ゼロトラスト**の考え方にに基づきアクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じた上で、**校務系・学習系ネットワークを統合**。

②校務支援システムのクラウド化

パブリッククラウド上での運用を前提に、**校務支援システム（教務・保健・学籍等）をクラウド化**し、汎用のクラウドツール（グループウェア、保護者連絡、備品管理等）と連携。

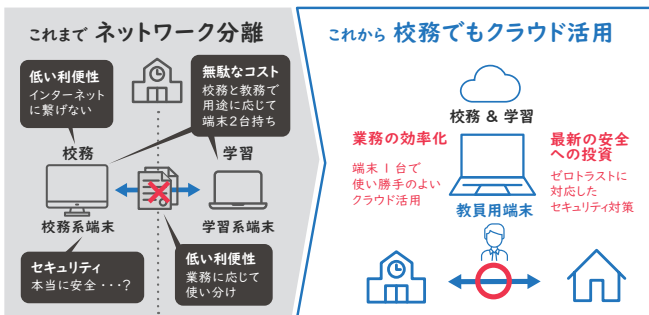
③データ連携基盤（ダッシュボード）の創出

クラウド上やサーバ上に存在する様々なデータを自動的に収集、分析、加工して簡潔にまとめ、集計値や表、グラフなどで視覚的に分かりやすく一覧化した画面を創出。

今後数年かけて校務系・学習系ネットワークの統合と次世代の校務支援システムの整備を行うとともに、クラウド活用を前提とした GIGA スクール環境の積極的な活用により、教職員や校内・校外の学校関係者、教育委員会職員の負担軽減・コミュニケーションの迅速化や活性化が可能であるとしている。

引用：公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領 P.6

①校務系・学習系ネットワークの統合



ネットワークを分離せず、クラウド活用へ

2021 年 5 月に改訂された「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」では、従来の「ネットワーク分離」に代わり、校務系でもインターネットに接続し、クラウド活用を進める前提での「アクセス制御型」によるセキュリティ対策が示されました。この対策により、校務系・校務外部系・学習系の業務を 1 台の端末で運用することが可能となり、端末の持ち出しに関しても情報セキュリティ管理者の包括的承認が可能となりました。

教員の働きやすい環境を整える

教員が働きやすい環境を整えることで、業務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を創出します。

- 教員が安心・安全に使える ICT 基盤、サクサク動くパソコン
- 転記・集計などの事務作業の自動化
- 働く場所や時間を選べる環境で、仕事の効率を上げる



より深い学びの実現

ICT の特性を生かし、より深い学び合いや探究学習を実現することで多様な子どもたちの可能性を広げます。

- 時間や場所の制約を超える
- 意見を共有しあう手段が増える
- さまざまな履歴を蓄積し、振り返りできる



ココがポイント！

文部科学省が自ら取り組む！

基盤ネットワークシステムにマイクロソフトのクラウドサービスを採用し、中央省庁初のフルクラウド化を実現

文部科学省の全職員が利用する「文部科学省行政情報システム」において、職員の多様な働き方への対応や、業務効率の改善、非常時に影響を受けにくい耐災害性、セキュリティ強化を図ることを目的として構成を検討しました。世界中の様々な業種の企業・組織で利用されている実績があることや、業務効率改善からセキュリティの担保まで包括的に実現できる点などが評価され、マイクロソフトのクラウドサービスが導入されました。Microsoft 365 E5 の導入により、より高いレベルでセキュリティを担保しながら、利便性の向上と情報漏洩対策を実現、Microsoft Azure の導入により、運用管理の一元化による効率化や災害時における事業継続などが可能となります。



文部科学省事例はこちら▶



鴻巣市教育委員会

先生が働きやすい!を作ったら、学校が変わってきた



鴻巣市教育委員会では、全国の自治体に先駆けて、Microsoft 365 を活用して、教育 ICT 環境のクラウド化を推進されてきました。セキュリティを意識することなく快適に働くことで、先生の意識が変わり、子どもに向き合う時間が増加したという声が生まれています。

鴻巣市事例「鴻巣市が実現した教育 ICT 環境大変革の軌跡」はこちら▶



鴻巣市の大変革までの道のりを詳しく解説した動画はこちら▶



聖徳大学附属 取手聖徳女子中学校・高等学校

先生方のお悩みを解決 教員一丸で実現した学び場づくり

Microsoft 365 Education A5 で学校の常識が変わった同校事例より



Before

- 職員室シバリでの仕事で、家事育児の両立が困難
- 校務系と学習系の端末を使い分けなければならず不便
- 情報流失や紛失が怖くて使用しづらい
- ネットワークが遅くて作業がはかどらない

After

- 外出先でも自宅でも安全安心に学校の情報にアクセス
- 1 台の PC で校内どこにいても仕事を完結できるように
- セキュリティにより守られるためどこでも安心して仕事ができる
- ゼロトラストによるセキュリティ認証で回線スピードが大幅に向上

働く場所と時間を自由に選べることで時間を生み出し、生徒に寄り添った学びを実現

「教員が働きやすい環境を整えてみたら」同校の学び場づくりへのこだわりを動画で詳しくご紹介▶



同校事例「教員たちで実現した学校 ICT 革命データ統合して真の探究的な学びの環境を構築」はこちら▶



②校務支援システムのクラウド化

令和 5 年度に「次世代の校務デジタル化推進実証事業」が開始しました。採択県である秋田県と山口県はいずれも Windows と Microsoft 365 を使用して、実証を行いました。マイクロソフトでは次世代の校務支援システムに求められる幅広い要件を満たすことができます。

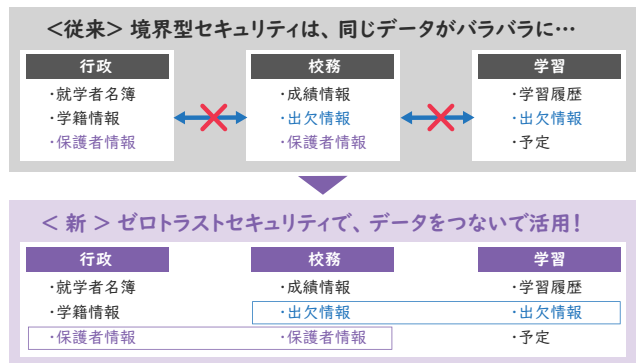


- 実証主体**
秋田県 学校数: 72校
山口県 学校数: 515校
- 実証項目**
ア. 校務系・学習系ネットワーク統合
イ. 校務支援システムと周辺システムのクラウド化
ウ. 教職員用端末の1台化、ローションフリーによる校務処理
エ. ゼロトラストによるセキュリティ対策
オ. ダッシュボード整備・データ連携

③データ連携基盤 (ダッシュボード) の創出

活用するためのデータを集めよう!どこから始める? 同じようなデータ、散らばっていませんか?

データ活用の効果の最大化には、多角的なデータ収集が必要です。しかし、紙の書類の多さやシステム間の連携不足で、データが散らしてしまいます。学校現場では、学習、校務、行政のデータが分断されており、分析に必要なデータが不足しがちです。データ活用を開始するには、既存データの整理と、システムの整備によるデータの一元化が重要です。これにより、分散したデータを効率的に活用し、教育現場の改善を図ることができます。



渋谷区教育委員会

教育ダッシュボードを Power BI で構築。内製化によるスピーディな改善も

渋谷区教育委員会では、子ども一人一人の幸福感を向上させるために、教育データを可視化し、全学校で活用するプロジェクトを行いました。このダッシュボードにより、教員や管理職は、子どもたちの興味や関心、悩みを察知し、チームとして迅速に対応できるようになりました。

詳しくはこちら▶



6

名もなき校務を応援

元教員が本気で考えた働き方を劇的に変える小技10

GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリストと対応表つき

「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」(令和5年8月中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会)4においても、1人1台端末の積極的な活用や、汎用のクラウドツールを活用した教職員間での情報交換の励行や会議資料のペーパーレス化、民間企業向けクラウドツールの転用による校務処理の負担軽減を図るとともに、スケジュール管理のオンライン化や、学校と保護者間の連絡手段を原則としてデジタル化するなどの取組を進める必要があるとされている。

引用:公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定要領 P.6

The image shows the cover of a book titled "10 Little Tricks to Dramatically Change Work Style" (名もなき校務を応援) and a checklist for GIGA school DX implementation. The book cover features a teacher and the number 10. The checklist is a table with various items and their corresponding actions.

2021年に発行した「働き方を劇的に変えるICTの小技10」は多くの現場で好評いただいております。先生の業務で知らず知らずのうちに時間かかってしまう、**伝達、集計、転記といった作業を自動化**することができます。一つでも小技をマスターすれば校務DXのチェックリスト幅広くカバーすることができます。

ダウンロードはこちら▶



保護者面談の調整は秘書に任せよう

保護者面談の日程管理、予定が重複したりして時間がかかっていませんか。**Microsoft Bookings**を使うことで、面談の予約管理が美容院の予約システムのようにでき、先生の手を介さずに予約変更ができます。調整にかかる時間を減らして、面談の準備に充てることができます。

※ Microsoft 365 Education A3/A5が必要



日々の教員間の連絡や職員会議も効率化

Teamsのチャット機能を活用することで、先生が校内のどこにいてもストレスなく確実に連絡を届けることができます。毎日の連絡事項はTeamsを利用して逐一共有し、職員会議は**OneNote**で共同編集&**Teams**会議を録画。伝え漏れをなくし簡単に後から確認ができます。



さらば回収と集計の日々よ

出欠や課外学習アンケートの紙による提出は、入力・集計が先生の大きな負担ではないでしょうか。**Forms**を利用することで、簡単にアンケートや申し込みフォームを作成し、**Excel**で結果を処理し集計や分析が簡単に行えるため、先生の負担が減らせます。



ココがポイント!

校務で安全に活用できる生成AI: Copilot (教育機関向け)

生成AIは便利な反面、データの漏洩や悪用のリスクもついてまわります。日常会話のように使えるため、機密情報が入り込む危険性があります。入力出力の情報が機械学習されると組織外の人わたる可能性があるため、校務での導入時にはAIとやり取りしたデータが残らない、機械学習されないといった法人向けデータ保護機能が搭載されている教育機関向けCopilotを利用しましょう。



7

マイクロソフトは共同調達に柔軟に対応します

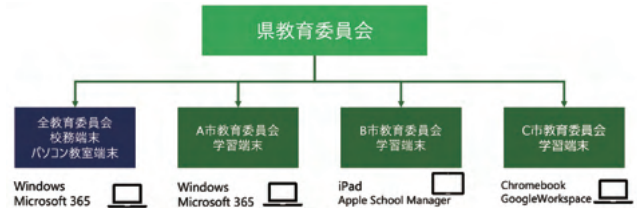
3. 共同調達

本事業による端末等の調達は、端末調達に係る市町村の事務負担の軽減や、**スケールメリット**による端末・サービス等の調達・**ランニングコストの低減**、共同調達を通じた端末利活用等に係る**ノウハウの共有**による業務改善などを目的とし、原則として共同調達によることとなっている。

引用:GIGAスクール構想の実現 学習者用コンピュータの調達等ガイドライン P.5

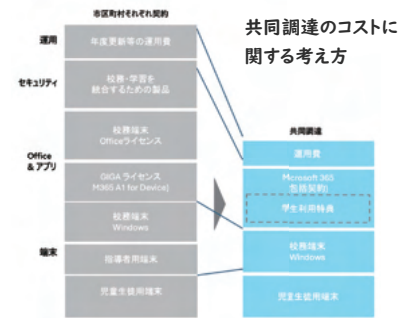
共同調達に便利な複数 OS、ID の管理

市町村で異なる OS や学習アプリを採用していても、ID と端末管理を集約することで共同調達に柔軟に対応します。この仕組みは次世代校務支援システムの基盤にでき、校務 DX への円滑な接続が可能になります。



圏域での包括ライセンスにより、どんな市町村でも調達しやすく

マイクロソフトでは**圏域での包括ライセンス**を提供しております。このライセンスを活用することにより、学習および校務用の Office、MDM、学習ソフトだけでなく、校務 DX や次世代校務支援システムの基盤など幅広いソフトを統合することが可能です。統合するコストメリットはもちろん、**小さな市町村でもボリュームディスカウントのメリットを享受できる**ことから都道府県で広がっている仕組みになります。



研修も圏域での知見の共有へ

マイクロソフトは、**圏域での無償ハイブリッド型研修**を提供します。**OSに関わらず**ご参加いただける内容で、学習や校務における、それぞれの市町村の知見を共有しながら利活用を支援します。



圏域で取りまとめると、教育政策に役立つデータも集まる

市町村で異なる OS や学習アプリを採用していても、ID と端末管理を集約していれば、**各種データを1か所に集めて**、分析、意思決定に使えるようになります。



ココがポイント!

マイクロソフト社内もマルチ OS を採用しています!

マイクロソフトの社内では Windows 以外にも様々な OS が利用可能です。記事に書かれている社員は普通の業務は Macbook を利用していますソフトも純正のものだけでなく、様々な社外製品を利用できるようになっています。アプリを連携する上では情報の保護が重要になります。社外でデータを取得しようとするアプリは自動で連携を止める機能も搭載されております。

詳しくはこちら



元教員栗原の目線から

起動が遅い!はワケがある 端末初期化でサクサク起動!



当時、学校にあった生徒用端末は起動にもものすごく時間がかかっていました。途中で止まり、エラーが起きて授業では使えませんでした。生徒からも使いたくないという声が挙がっていました。

家電量販店で並んでいる Windows は早いのに、なんで学校の Windows は動かないのだろう? 違和感を感じた先生たちと一緒に **Windows を初期化し、クラウド接続に切り替えました。するとびっくりするくらい早くなりました。スリープからの復帰は 3 秒、電源オフからの起動でも約 11 秒でした。** 既存の端末管理ツール、環境復元ソフト、ウイルス対策、オンプレミス型認証の仕組みなどで重くなっていました。最新のツールであればクラウド側で AI で適切に調整してくれるので、OS アップデートや端末ストレージ容量の調整が自動で行われました。

上記の内容は、**マイクロソフトの基本パッケージ (補助対象 5.5 万円内) で満たすことができます。** 認定パートナー制度を設け、快適に Windows が動作するように設計・構築を行うためのトレーニングと資格を提供しています。下記 Web サイトにて、都道府県ごとの認定パートナーを検索できます。 <https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/education/search-partner/>



例えば、端末のローカル環境に多くのソフトウェアを追加インストールするために、これらのソフトウェアが快適に稼働するようストレージやメモリを増設する事例や追加ソフトウェアに見合ったスペックアップを行っていないために端末の動作が遅くなる事例が見受けられる。教育上真に必要なソフトウェアのインストールを否定するものではないが、端末のローカル環境にコンピュータリソースを多く消費するソフトウェアを追加インストールすることは、端末のスペックを踏まえて慎重に検討すべきである。

引用:GIGAスクール構想の実現 学習者用コンピュータ最低スペック基準 P.1

GIGAに関するお問合せ窓口



現状お持ちの端末について、極端に起動が遅い等の課題がある場合、違和感を感じる場合には、是非お気軽に教育機関ご担当者様向け GIGA スクール相談窓口にご相談ください。

詳しくはこちら ▶



本リーフレットについてのお問い合わせ

本リーフレットに記載された情報は制作当時 (2024 年 5 月) のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご承知ください。本リーフレットは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。

製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。

■インターネット ホームページ <https://www.microsoft.com/ja-jp/>

■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755 (9:00 ~ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く) ※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

*記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。

*製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。



日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー